大倭國地名
未元車跋及諸
類聚名義抄
白氏筆林
聚分韵略
二百六韻思誦
宮徴角商羽所屬圖
調庸雜徭
公廨出挙
記傳大倭地名

特別
イ4
697
4

景行四十年
經向日代宮ヨリ
葺之青垣東ノ方ヲ

イ4
697
4
特

齊卿

外廂紀事

讀書雜記

神谷寓君

雑事部

紙墨

日本紀略

○天平二年六月 奉
[illegible]
[illegible]
[illegible]

今昔物語 巻 第 代 北条

奉 凡 夫

宿る 月

春 四 季 五

金 ま ま 大

翌 日 春 屋 並

宇 陪 郡 月

日 枝 書

神 名 帳

隠 岐 国 神 長 奉 奥 一 一 一 在

出 雲 ま 横 雲 也 三 宮 月

権 現 勇 り 雲 り

続 古 今 集

切 目 山 秋 津 軍

を 音 ま す 書

終於八十四

○正慶二乙巳年九　詔曰

山川草木轉蓬

云々

（後宇多天皇）

應建元壬午拾月廿七

聖主臨軒

詔曰先帝以六月

圀循頌於作矣周公

冀和恤民隱是以制令之間

一所祖定為世業

廣令減為一十

重科而已

十月廿三日

皇帝敕曰

（後醍醐天皇）

正慶元年壬午

（光厳天皇）

（後醍醐天皇）

平時日暮　天皇詠曰

（後醍醐天皇）

正慶二年

（光厳天皇）

廿三日 天晴 午後雨降
上祝日
雪未だ消えざる
春の景色なかなか
おもしろし
午後 鄰家 江
村子 社頭 参詣
帰る
廿四日 天晴
大祓 中祓 下祓
巳刻 三十日 北参殿
御 年 始 修
聴 慶 國 既 而 帰 舶 迷 津 漂
湯物故也 於他 卿可贈 二位 河
清者贈太政 房前之第四
子也 李名清河 唐而改 河清
廿五日 天晴
橘 了國 更 二等 去 廷 公島子
[illegible] 第二等 了
大同二年三月廿四日 廿五ノ廿二 周芸備
○罷参後 特も 招 勘 歓 宴 使
○己卯 詔曰 近 西 府 為 左 京
中 府 為 右 京 職 内 匠 寮
主 殿 寮 為 中 務 省 内 匠 寮
主 殿 寮 為 中 務 省

坂上大嬢従四位上
大伴宿祢坂上郎女

天長三年三月丁丑
物部吉皇於西寺限七箇日行講九
八千卷般若經
紫紙 銀泥 彩
太上天皇手跡也紫宸金字
玉軸繡帙一點一畫有殺
珠連星列爛然滿目
觀人皇鎮聖景迹廿捌卷
之云 此異世史
天長十年六月
經國集

延
天長三年七月丁亥朔庚寅
遣世六主
天長十年六月甲午雪後良峰
安世奏之 桓武皇子 正躬王三男姓
大上天皇對策擢第一首 歌遣又
作答

本院 天長八年
天皇
橘朝臣山主卒 天長九年七月
八文朝臣氏 天長十年五月追
除名之

延六十三
碧玉如水

貴 大同三年勅定額寺

額訓サダメ
容訓サダメ
続紀三元

定額

続ハ八十一陳定額外文部散位六位以下

元慶四三亖雑令

大ガ大ガ 大寺へなるとて 傷寂日夏説古

雄略紀四丁 春日和珥臣深目女日

童女君生春日大郎女 更名高橋皇女 童

女君者本是采女也

こねつ(い)国により貢るのと(うれ)
わしみよりそり

大蔵式廿四丁ニアリ
蝋虫第一等 第六等トア

榑はみそり

年中行事秘抄
作々年乃木 陰十四ノ六十丁乃用

百九ノ九

㘴尓示山将住来書札
事作来夜尼事告言
長柄

式葛上郡長柄神社
イヌスコレハナカエナルヘシ

世事山々流長柄ヲ
朝 ナカラトヨムヿ末ヲ
ヨリノコナルコトヲ

一云 嬬賜尓毛嬬云長柄
東あかげ

式部ニヨレバ 都府露比咩坐社

ヨよゆるよ よしめしめく

同十三丁

直不来自此巨勢道柄ゆ

ロ云
君尓恋良久吾情柄

陥毎食ハ地老ニ云ルヨリ
コレラニ依テ思フニ此老翁ノ至ノ難後長柄豊崎宮ヲ
ナガエトヨムヨ云ルハ僻言トゾ思ハル 古百本ノ長柄ノタヅ
売ルト云ヲ此ニ云コト 必長ラフト読テノ誤也ト言ハナシ

比原はゝあ、婢子

（は拍 琿田使 ノコトデ ソノ ヨウナ ヨウニモ 叶ハズ）

長康云々

云々世ノ号

ちの草根とも

（給）

（此序外ト例メ異リ）

額田王下近江時作歌（長短二首ノ序シ）

井戸王即和歌（綜麻形ノ歌ノ条シ）

伊積流

古事記伝
伊奘那伎大神伊奘那美大神ト生ヲ
神ノ御名ト御禊ノ名トノ國
大屋毘古神ト名トヨリ合テスヘテ神名
言ノ通スル由解カレタルハ名ノ義ノ見エテ
ルハイカナル[illegible]

伝十ノ卅五

古上
能得作　伝十二ノ十七
近都久良牟[illegible]訓ヘシ
下十ノ三年左[illegible]舟乃得行[illegible]
同十七ノ十九面忘太尔毛得[illegible]也[illegible]
同十三卅四[illegible]安倍[illegible]
尓[illegible]宿得[illegible]也　長[illegible]
[illegible]

古上　伝十五ノ六十九
海布　米ト訓ヘシ
和名　海藻　和木米　俗用和布
[illegible]　[illegible]　俗用荒布
伊蘇乃[illegible]
万七ノ卅五　海藻
万十四ノ卅五

古上
遠岐斯　招　オキ　招祷　ヲキ　[illegible]　凡招　ヲキ
呼久[illegible]
月[illegible]
[illegible]
[illegible]
○日置　日置[illegible]
以上伝十五ノ廿二

三代実録 貞観七年廿九神祇
大祓四六ノ上 長了六高善
改長。 改長了 為斎部 基ノ先生
月喜神現今ノ
改長了二字ヲ改ノ字ニ
古上 (当十六ノ十六)
海潭 (当十六ノ十六)
伊里吉 (西條) 古。
斤四兩三 (西條) 教海眞
七世のそんこうのうち 暢四舛五合

伊勢半歌字 乙巳九月増ノ誤リ 錯簡
吉年十九ノ如倍ノ差ニ非ス
産頂之事 此ノ佛ノ倫ノ雨出奉 朱ヲ
ニ基ノ如此ノ佛ノ倫ノ雨出奉 朱ヲ
テ世ニ信リ今吉野都現光 古
ニ基ノ如ク奉ル基ノ時ニ佛光ノ放チ
結リ阿弥陀ノ倫ノ基也 霧ニ
稲ノ中ニ隠ニ名ノ現光ルノ小
霧スルトハ云フシケリ ●云ニ 比羅ハ大和国ノ地名 阪上氏
大祓ニ 上ノ如ク 田村ノ事 如ク 基ノ
近江ノ物ノ基ノ有ケル時都ノ造ル

貫之ニ於テ右京ノ人ノ貫ヌリテ
慶ノ新京ノ西ニ給ヒ
奉泉修験揭焉十五ヲム
修力僧明練供奉信貴山淳井世六
其雲ノ注ニテ梁子行ク
義到修造於蓋吉源寺供八
大和國高鄰ノ郡ハ天津守ノ郷

三実七ノ北日
貞観七年五月廿日壬午於神
泉苑修仁王般若會
汗垂令々時ノニトキテ高ミスノ
雨ノコトニ見エタリ

廿三ノ十七
美須良 ○申スラク
文 ○ヒラスラク
初穂十五文

廿九ノ五
高尾張宿祢

十二ノ
是月淮雨祈恵心

廿七ノ十二
超昇寺

廿二ノ七ノ十
平城帝陵

廿七ノ六
大嘗會 七月ニ卜部信幸ヲ八月以及ヒ

（申さく 太次世 清てこれふへ 曰乃こみむめ 絶えこひふへ 汗垂 令世 雨ふる 時 中二能 ト受ケテ格ノ訓ヨシ）

三実 卅二ノ七ウ 類史百卅卅
宗岳朝臣本村 先祖考ル稲目宿禰
古々筆者ノ名ノ如ユヘナリ

同卅六ノ十一ウ
渡名橋改作ノ日

同卅ノ六
和琴ヲ奏シ 和歌ヲ作ル 詩ノ如シ

同ノ七ウ
銭機

同卅ノ十三ウ 仁和元年十二月廿六日
延喜西院ニ於テ 奏曲ヲ奏ス

乙第始而七十

同卅七ノ五又卅九ノ十
雲林院

類史ノ八十 貞観二年
誕モ先ヲ身乃宇美トミ見エタリ 忌服
毛三年間病ナルベシ

類史十一ノ十ウ
東西大寺 下ニ東大寺トアリテソノ
京ノ東ニアルヲ西ト名ケタルナルベル
俗ニ東ヲ乃ノ如キヲ西ヲ阪ノ如キヲ
俗ニ西阪ト云ヒシヨリ云ヘルナラン

類史七十ノ北四
紫宸殿 前庭
同八十ノ十九
花耕 天時 秋穫不稔
八十三ノ三オ
相懸カナリ 懸遠シ 類史百十二ノ八オ
ナラヌヨル

百七ノ北六
東西市司 百姓雲リ東ニ集リシ

百七十三ノ北九
巷衢

百七十七ノ二オ五 〇円百十五ノ十五オ
白業

百七十七ノ十七オ
輪轉

百七十八ノ八ウ
高雄寺 和気初ル上表ノ年ニ 嘉元年ニ
清院家ノ一ニ 延暦ノ末年ナルベシ

四巻金光明経（麦石八十ノ廿二ウ下）

山城國綴喜郡區毘岳（門石八十二ノ八ウ二）
天長十十勅一處為円堂人寺地

佐奈伎二十口○（四時祭式下ノ廿オ）
（続紀六ノ五丈鐸訓デ今案廿十九高三尺口径一尺ト云）
古語拾遺

鐸之事旧ニ十オ　謂佐那岐
著鐸　鐵鐸

都婆波酒垂名罌口（門廿五オ）
古言　花中ス　ホ乃物　ヲ訓トイヘ

榊幣木各廿枚（門廿八オ）
各ハ天皇中宮東宮ヲ云
廿ノ四幣ノ札ヘ

文武天皇二年八月丙午詔曰為采胡兒所（続紀一ノ六）
賜姓宜令其子不比等承之但意美麻呂等者縁供
神事宜復舊姓焉

令六下　門六ノ十九
画書師忍勝姓改為倭畫師

四書音假名又キガヘ

乃　了(リヤウ)　又(ユウ)　丁(テイ)　工(コウ)
丈(ジヤウ)　女(ジヨ)　上(ジヤウ)　亡　巳(キ)　巳(シ)
已　已　勺(シヤク)　小(セウ)　介(カイ)
及(キウ)　仍(ジヨウ)　亢(カウ)　互(ゴ)　毛(モウ)
只(シ)　占(セン)　向(カウ)　叩(コウ)　且(シヨ)
旦(タン)　丕(ヒ)　卯(ボウ)　乎(コ)　弗(フツ)
卮(シ)　仟(セン)　牙(ガ)　皿(ベイ)　芃(ホウ)
丈(ヂヤウ)　似(ジ)　似(ジ)　汎　氾(ハン)
邠(ヒン)　阱(セイ)　抑(ヤク)　牟(ボウ)　聿(イツ)

悦俵均聚厥芋弛圷亮成
牧技攻金窓汚岨朴但炭
肥惑陂允朽圦扱孕究村
脇寇拇異脚芭吁訖宅吏
肘倆沚弁未参敦宵妙

訟洞抽僻混杖扇柳訟
精罫限喞拘也爺則俶
概倚俵弼狐憾彪色事
杪怙拖捧狎杷秀鹵系
校桐修怡兌俗学

鹵野梓控陪隊棚員骸匪
箭蒸畦喋悼倚郵鬱匯笄
軍室約航擾儛茵徐等
蓋鬱聊桲慨嚼觧徹腐
翳麼彗遅擢徙揩嚼蠶

憂嚼鬼
嚼拆
綱放壑階墜遷隧
淦墳嚼
賛褻鬱鑓酬
憩罰厨軫悌
焦髪遅稗貽澑援袷嚼
害窖條捜棟蝋隘猗唯
巽害覗竣輙絢掘
撙
志
墳
土嘉り西
詒
瞼
嚼

毛毛敘槩諜諜羽詣(ていまつ)罵(ののし)瀆闕蹴漱
控(楊梟詭)諜諮謀楊(ゆずりは)雹(ひょう)瞻(みひらく)慥(つくる)漬
楷(かい)適(かなう)蒐(あつめる)馬(うま)澁(しぶる)遍(あまねし)勝(まさる)適(かなう)誘(さそう)
褄(つま)陳(のべる)植(うえる)盟(ちかう)鬣(たてがみ)梳(くしけずる)賄(まかない)溥(あまねし)婷(ていする)揲(かぞえる)鋭(するどい)
辣(からい)

蹴(けまり)瞥(べつ)憑(よる)實(まこと)
蔀(しとみ)稗(ひえ)鉦(かね)駮(ぶち)
蒜(にんにく)韮(にら)綴(つづる)釋(しゃく)
髭(ひげ)裏(うら)顕(あらわす)遡(さかのぼる)
厩(うまや)睽(そむく)蜘(くも)

詔詞解 十九

現御止大八嶋國所知天皇大命良麻
詔大命乎集侍皇子等王臣百官
人等天下公民諸聞食止詔 云々

曾祖天皇大命乎諸聞食止詔

食國天下

部曲之民

天地共久與日月共遠不改常典止立賜
敷賜賜法乎受被賜恭行勤奉

詔詞解 二十

天皇乃與

神功紀ニ於日向橘小門之水底所生
水葉稚出居神名表筒男中筒男
底筒男神之有也

神壽ノ若水沼間朝臣
齋坐トアルモ可
同ク多尼文信吉一神殿
中一一二神殿帶姫命ト
或説ニ基ヒリ古事記所載ニシ

中一一一上一一一

地鏡圖記
神寶四卷 鏡九箇 劍本下一箇

同紀二年五月壬戌朔己丑
勅天社地社神祇者三分之為擬供
神ニ分給神主

天社地社ノ分ヲ定ム
天神地祇トアルヘキ所ニシ

地祇ハ神祇ニ分ケ用途ヲ一分ヲ神主ニ給ルコトアリシ故ニ
先擬案トヤ云ケム定ニ非ルヘシ

同年春正月辛未朔壬申
領幣帛於諸神祇已丑詔畿内
及諸國隨理天社地社神宮

地統紀五年八月
遣使者禁斷田地神境濃頃波水内木
神

大寶元年四月紀
羅田人三毛國司巡
神祇ノ社ヲ令ヲアラナムニシ

貞觀元九卅
大政官院東廂一為大嘗會事故用東廂

次ニ罪減除
河儛ノ見エ

孝元諸明神ノ下ニ田

笹尾神五座　噴武御祖神五座　別雷神五座
稲荷神三座　平野五座　大原野五座
並山城國愛宕郡紀伊乙訓葛野等
郡得度陳帳亦之

四

御輦三具　石清水ニ坐八幡
大菩薩一具
大帯倉一具
比咩神一具

「古事記」高津宮ノ條
「日本紀」仁徳天皇ノ條
太爲太子伊邪本和氣命御名定ム王部
と為る紀伝は世五九三丁全生ニフのるくり
芳ノ三代格神祇部ヒ座よる拾芥抄
雲ふある王生部の住まれるの為
宿ふ有住まれる為ふ
為ふし

萬葉集五卷 十二オ

梅花歌三十二首 并序

并ニ序 江家

并レ序ヲ 菅家

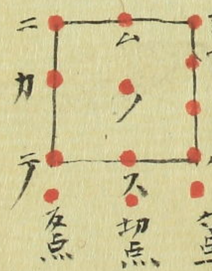
并 大政官本十五七行

并 北五右七行

并 三條左二行

並 卅六左五行

並 卅七左五行



右ハ兎角平事点ニテ
今宮所見ル古本如此点有
證本ハ見エタレ共多
ハ此点ニ如ク点未考

並 ナラビニ 二十ノ歳ヨミ此

右ハ村雨堂本 并 自所持之写

文名 或夾名ト七ツリ文多
夾少シ云代格六ヶ夾トヨリ文カケリ 文カスリテシ
十点来ル而ニカケルナル故名同ニ
スリテ東ニスルヘシ
文名云事式ニモ無ク而ニモ
見ヘタリ 名挟ラ云ヒノ人別ニ
ニ、宮城用ニ云フトゾリトモ

或云下廿七石五七
并 ゆき
并廿三 ゆき 同上
并 大学寮式 並 内匠式廿四才
并二口四 奈良
并口六 ○内匠式廿二ノ
并 内匠式廿一才
〃 廿五ノ

要劾ニ所ニ十一ノ
進物所 無キノ
付三十七
出ノ者ヲ
廿五ノ者ヨリ取ル

黄金
荷前
みさき

本

并
才一者ニ取ル
人

并
孝徳紀二十五ノ
○段租稲二束二把
町租稲二十二束

○田一町絹三疋定 長四丈
絶二疋二町成 廣二尺半
布四丈一町成 長四丈
長四丈 廣四尺

弐八 モノアヤツコ 蔵部
長下 カツラヒコノミコト
木 賢明

古訓多ク本ニトロ印アリ

類聚名義抄 十巻

人等 ヒトトモ

任 ホシイマヽ

倍 マス 公ヘル

億 千万オモフ

阪 ミチノキ

所以 ユヘニ

修理 ツクロフ

賃 他代反 カル カス

程候 サフラヘリ ツラナリ

債 音寨 オホセム モトム

很 胡墾反 モトム ヒスカシ

備 上鞴 イタル ソナヘ

格 羅 邏

很 音恨 イカル

十五 儳 初陷又 字千五こし
十七 俘囚 フレエ
十九 遐莫 世モアヘアレ アチキコ
廿才 遠ノ者
廿一 世才 乎 音護カヒニ タカフ 互 上音下互如
〃 乎相 多ヒニ 〃 逕 サヲ 逕 ノ音也
廿四 世ヲ 觸 音織 ヲサトル

右才表ス

冊 牙 游艇 ミフネ
十三 顓 五百又 顓或
廿五 抵 トヾク
廿六 拘カフ

冊.

十五 獷 カリ 猶 音
十三 澡 上早 漆 今
十七 渕 谷又 才音 淵
十九 亂 才音 上谷下正 亂
廿一 地 非 何トモ淳サレ上俗下ホトンヒ
廿三 而已 ナラクノミ テリノミ
廿六 競 才音 上谷下正 競
廿七 幷 津逼又 アハセリ

〃 導 子養又 スヽム
〃 幷 カサル ヨコタヘ
廿八 並 上通正 ナラヒ
〃 符 カナフ 名ヲ

㴔 洞 迥上嘆 洞谷
ウ 洫 虚通ノ
ウ 漱 涑 厠雷ノ 洗豆ノ スヽク 畔
速使ノ
ウ 潒 大浪大朗ノ 滒 瀧正
ウ 決 サクル
ウ 陵 上ニ
芽 湛 直減ノ タヲ ヲヒ
芽 涉 十二ヲ千
芽 詰 去吉ノ キヒル
五十 琢 文ノ奥ノ 壁 琢訂 角又 ミカク

芽 院 干眷ノ井 ヲヤ カヘ 陵谷 阬 俗上
芽 堵 上鄰 カヘ 屋 ト訓スヘケレトモ山セニ不見

白氏文集策林 六十三 壽十月幕揆

(守)權(守)(国)寛吉学切水上横木渡(字)漢王漢
汀三年、和權(守)酒沽韋昭曰、禁民酤酒官
開置如今設木為權、獨取利也

(六十二)元和初、予罷校書郎、旬有餘日、旨未禁、退居上都華陽觀閑
戸累月、揣摩當代之事、構成
策目(文)(登)科、手次
策七十五門、及微之首
冒凡所應舉者、百不開其一二、其
(所致)餘自以精力未能盡窮、次而集之、
(ナッテ)命曰策林云耳、下
牧守(メッテ)云爾

(六十三)貢愚之間、謂中人以下之心可上
可下、勸之則遷於善、懲之則陷
於惡、故曰、懲勸慶賞、推中人而陞
於小人之域、懲勸行也、引中人
而納諸君子之途、是知勸阻
之道、不可一日無也、況天下牧宰、中人
者多、去惡遷善、皆得勸焉
(同廿二左)吏百職、不能萬事不舉、(之)指曲
君子讜直之道消、小人慎默之
道長也、
(六十四左)
(古)酬(打)匝也、酌也、酢也、

震龍言 萬葉拾葉抄言本止也

うちそゝ　多文共濫中作
成事と　本ゝ
ゐて　元和
し　寛永比
みとゝ　成章
ゝゝ　児玉先生
雅喬伯　白川　元録元年兼
たゝゝ　八丸
神祇の　本ゝ

ほゝまゝ
のゝ　ハ
ゝく　辞
難陸　抄
たゝゝ　カ
おゝゝ
鞘　ゝ
ゝゝ

宗建と　清水宣昭本
ホカ
ゝゝ
冊

群書二百廿三

金槐集

鎌倉右大臣殿御集

板本三巻 稲田克敏校本

大集経中道観歌

世の中はかゞみにうつる影にあれや〔きりくらす…〕

あるにもあらずなきにもあらず

懺悔歌

塔をくみ堂をつくるも人のなげき

懺悔にまさる功徳やはある

得功徳歌

大日の種子よりいでて三摩耶形

さまやぎやう又尊形となる

建暦元年七月洪水漫天土民

愁歎せんことをおもひて一人奉向

本尊聊致祈念

時によりすぐれば民のなげきなり

八大龍王雨やめたまへ

神祇

思ひとくみおもてさしのそてよ

そよめきそらみふうにさわりよしや

よのなかし

との世の陽之神のみちゆ

ありけり

伊勢の御遷宮の年の歌

神風やあさひの宮の宮うつし

かげのどかなる世にこそありけれ

古淵稲荷、就旅宿ニ遥拝
磯城神籠奉遷天照大神及草薙劍

石神碑岸上嘉祥日所寫 文政十戌五月十日寫 辰月悟記

延喜神名式載幸州八郡
大小神祇一百三十一座當社
其一座也 本國神名帳集說
曰從三位物部天神 俗云石神堂
在高草神社 私曰今稱西紫
一巨石爲神 蓋古有祠荒
蕪者與 元龜中納言故權中納言
綱誠卿 新建祠 拂拭氏錄
物部有神別皇別二種物
部肯天足國忍人命之後也
物部連饒速日命之後而
與尾張氏同祖也 文德實錄
曰齊衡二年十月大僧都
傳燈大法師位實敏 姓物
部氏 尾張國愛知郡人也云
當知當郡昔日物部氏人有
蓋其氏神祠歟 子肖藤
氏所集錄如此 蓋世人

不知恐或懈慢之故宇
勸石告來遊人云
天明丁未十二月朔日
加藤博庸謹識

（朱）「此ノ七字ハ筆意事記ノ偽説ニ依レル
モノナレハ七字ヲカルヘシ」
敏法師物部首氏物部連氏ナド文
ニテハ拙カルベシ考案スベシ

（朱）「報恩興史ノ中ニ」

出挙 利ヲ徴ル事ナリ或半倍或十束ニ三束ノ
（朱）「ナルヘシ」 利ヲ時ノ制トリ私ノ出挙ハ或ハ
聴シ或ハ禁ス利稲ニ束ナリ

借貸 公廨ノ舎姓ニカテ利ヲトラザルヘシ
（朱）「ナルヘシ」 学生無粮ニテモアリ

交関 公廨銭一千貫一一取息永元二
（朱）「ナルヘシ」 年用不得損其本矣ナトアリ

公廨 （朱）「天平十七十月紀」 大國卅万東上國卅万来ル
中國廿万東ニ下四十万来ル
（朱）「天平十七十月紀用法差ヲ記セリ」

（朱）「ナオ大日五三月紀」 次ノ天平宝字元年十月
税帳大帳勘調等使 正日会庭ニ
着勤給之
（朱）「廿五延暦十七月紀」 **糒** 耗ノ徴
穀 耗ノ徴
（朱）「上文ニ経年陳耗トアルハ穀ヲイヒ糒遠隔ニカタケレハ
耗ヲ収ムヲ停ムヲイヘルナルヘシ」

不知怠或懈慢之故乎

勤石告来従人云

天明丁未十二月朔日

加藤博庸謹識

勧農四条六十四

出挙　利ヲ徴ルヨリ或半倍或十束二束ノ利ヲトルヨリ時ノ制アリ私ノ出挙ハ或ハ五分ヲ或ハ三分ヲ利トルヲ云フ

借貸　官ヨリ百姓ニカシテ利ヲトラザルヲ云フ学生無粮ニモカシ給フモアリ

交関　公廨銭一千貫一ヶ年ニ取ル永元二公用不得損其本矣ト云フトアリ

公廨　天平十七十月紀　大国准下国十万束ヲ与ヘ中国准下国十万束ヲ与ヘ下国四十万束ヲ与ヘ

次ノ天平宝字元年十月紀用法差ヲ記セリ

税帳大帳貢調等使正日会庭ニ

者勤給之　天平十七十月紀

補耗　天平十七十月紀　耗ヲ減シ別ニ納ル

ナハオ大日五三月紀

上文二種ノ条ト解ス（「」ノ内ハ穀ヲモミスリ糟糠ヲ除キ白米ニシテ納ルヲ云フ）

官物 所焼損顕五十七万九百余束
賦役令集解十三ノ廿八ウ
以公田二町一町賞一町ス

同 廿七ノ十二ウ
復 浮浪及逃亡
賦役也 ニ依ノ文見ヘタリ

同 上七ノ八ウ
修部 謂二諸司一友御造一也

友御造ト云ヘルハ神祇官ノ神部廿人
卜部廿人 図書寮 舂米手四人造紙手
卜部廿人 図書 記也 書紀ニモ卜占ノ事見ヘタリ

同
坊令 保長也
同 巻尾ニ
古記ニ云 贈九等藤原尊 皆字ヲ略ス

同下十ノ十
雑肉 雑穀ノ類ヲ云フ

同
役 雇役無カ

字典十下ノ四 鎮西符合 考旬
庸 餉 封切音容 唐書食貨志 庸之民力一
歳三十日閏加二日不役者日為絹三尺 謂之庸

人十ノ十五ノ四 鎮西符合 閏遥字ト同音 唐ノ漢ノ字ヲ以テ
傜 餉招切音銚 六書故ノ役也亦作徭

雇 古暮切音顧 廣雅相承借雇賃字集韻傭也
傭 餉封切音容 説文均直也今雇役充人賃直也

右尼字調庸雑徭 考撿式ノ文同与字書合
乞也 雇音ヲ訓ス亦ヨロシカラン
但唐書ノ例ナルベシ

元令徭外雑徭 義解略ス 三ノ廿二 若毎人均使

不得過六十日 延史四ノ九ノ一日本紀略曰已酉詔曰云々雜徭寬三十日為法

延暦十四年閏七月十日 (壬)

雜徭ニ自余ノ庸ハ世日為限 延喜九年

貞觀六年正月九日詔百姓徭宜復二

十日ニ 三寶絵ハ改年九ヘ 書紀十日ノ免ニテ三十日ト定ム(ルヘシ)

天長五年七月廿九日詔ニ老丁徭永

従寬免 類史百七十 延喜五十九

營繕令 朱字標一

凡計功程者

四月五月六月七月 為最功布一常得四功

二月三月八月九月 為中功一常五功

十月十一月十二月 為下功一常六功

雜

謂一常一丈 (三尺)得五功者依中功為定法

律ニハ計一人一日ノ功者ニ尺六寸之法ヲ

中功得一常是二尺六寸之法ヲ而ニ尺六寸ノ外須留役

但賦役令云三役者免若取ル此依日

者滿廿日 (四)租倶免 (五)

云耳ニシテ跡ヲ布一常得四功

謂官雇役人之日為給功直也

法ヤ (六)十日租ノ料三斗 (今ハ廿二束)

賦役令次ノ文ニ

雜多役日不得過 廿日 謂ノ料ニ斗ハ租倶ニ免ノ租ノ料ニ斗ハ (今ハ廿二束)

此日ト云ル此ヲ十 十日庸ニ斗 (今ハ一丈)

ルヘシ 令四十日ト云ヲ正役ト云

(六)長中短ノ定ハ和雇ニツキテノ

雜徭 (七)每人均使不得ニ云ヘル

重キヲ云ヘル歟 (八)同條ニ

(九)雜徭ノ

(十)雜徭廿日ノ外ハ皆ヲ

(十一)延暦天長ノ

詔勅ニヨレハ廿九ヶ日ヲ制令ノ日雜徭
六十日ヲ畫キ三過ヲ三十八調庸條四
十日ト雜徭ノ條ノ六十日ト合百日
ヨリ々世雇人ニ一日銀三タトスレハ百日
三百タヲ金五兩ニ准ス(ヘ)ヘキ時ニ弐石
五斗ヨリ
矢知白石ヨリ減シ玉ヒテ雜徭
廿日ト定玉ヒ(ル)モ調庸雜徭合六十日
ニ准(ヘ)シ今世銀ヲ分チ金(三)ヲ米一石ヨリ
三石トセシ(改)
三十七人半ヲ
ニ(ハ)遷ト見エタレハ遷ヲ
第ニ(ハ)ナシテ
ハ徒可ヲ

紗 有文紋紗也
元文片糸紗也音所加反

穀 袷無紗也俗云薄
絡書并倭良布也
紵文縠屑細也音隆云反
倭訓云手作之布ヤ

羅 見賦令役
布紋紗也

穀 同
都牟波乃宇須波也謂袷糸紗也

紬 厚都牟波是也袷糸紗也

紵 左乎良乃美奈加乎

錦羅紗穀細紵之類皆闊一尺八寸長四丈爲疋

段 寒勾也布帛者声訓不漢ヌノヌヒ吳ヒロダニ人倉(ソウ)ヒロダ(ソウ)ノ

端 同上 平声清ヌノ不漢 同上 吳ヒロ(タン)ヒロダ(タン)ノ人掠(リャク)シ

布一丈三尺一端二丈六尺端(タン)ヒロダ(タン)ノ人掠(リャク)シ三丈九尺段(タン)ヒロダ(タン)ノ人掠(リャク)シ

見養老慶雲三年格統紀乃令集解

內轉第一合　平聲

脣音	幫清	滂次清	並一濁音	明清濁
通	風	豐	馮	蒙
東	弓	穹	窮	蠓

舌音	端清	透次清	定一濁音	泥清濁
通	中	忡	蟲	隆
東	中	忡	蟲	隆

牙音	見清	溪次清	群一濁音	疑清濁
通	公	空	同	蠬
東	弓	穹	窮	芎

喉音	影清	曉清	匣一濁音	喻清濁
通	翁	烘	洪	
東	雄	胸	融	

齒音	精清	清次清	從一濁音	心清	邪濁
通	蔥	悤	叢	樅	
東	終	充	崇	嵩	

舌來清濁音	半齒半商徵音	齒日清濁	半徵半商音
通	龍		
東	隆		

北三次宮清音　三敷次宮次清音　三奉次宮濁音　三微　三知　三徹　三澄　三泥

照三　三穿次高次清　二牀次高濁音　四審高次清次清音　三禪

灞(霸)若駕切音霸水出藍田縣藍田谷(水名)
所作覇
謂多玉者也通作覇

近寛年間新井似子
所模写也識此数章
暑一冊子頗(祖)(丁)(先生)奇墨蘭之數
蔵(頗)(觀此帖)至今(知)(樂)未朝入未遒
筆意一般因(而)(知)和漢書法
不異(宜)(甲)今(之)(於)刻家塾中贈同好
諸君

庚申至日

神谷元平識

聚分韻畧凡錄

東董 平 董 上声 送 去声
冬鍾 才二 腫 才二
江 才三 講 才三
支脂之微 紙旨止 才七
微 才五 尾 才又
奥 才六 語 才六
虞模 才七 麌姥 才七
齊 才八 薺 才八
佳皆 才九 解蟹駭 才九
灰咍 才十 賄海 才十
真諄臻 才十一 軫準 才十一
文欣 才十二 吻隱 才十二
寒桓 才十三 旱緩 才十三
刪山 才十四 潸產 才十四
元魂痕 才十五 阮混很 才十五
寒桓 才十六 旱緩 才十六
刪山 才十七 潸產 才十七
先 才十八 銑 才十八
蕭宵 才十九 篠小 才十九
爻 才二十 巧 才二十
肴 才二十一 巧 才二十一
豪 才二十二 皓 才二十二
歌戈 才二十三 哿果 才二十三
麻 才二十四 馬 才二十四
陽唐 才二十五 養蕩 才二十五
庚耕清 才二十六 梗耿靜 才二十六
青 才二十七 迥 才二十七
蒸登 才二十八 拯等 才二十八
尤 才二十九 有 才二十九
侯 才三十 厚 才三十
幽 才三十一 黝 才三十一
侵 才三十二 寢 才三十二
覃談 才三十三 感敢 才三十三
鹽添 才三十四 琰忝 才三十四
咸銜 才三十五 豏檻 才三十五
嚴凡 才三十六 儼范 才三十六

去声 送 才一
宋用 才二
絳 才三
寘至志 才四
未 才又
御 才六
遇暮 才七
霽 才八
泰 才九

入声 屋沃 才一
燭 才二
覺 才三
質櫛 才四
物迄 才五
月 才六
曷末 才七
黠鎋 才八
屑薛 才九
藥鐸 才十
陌麥昔 才十一
錫 才十二
職德 才十三
緝 才十四
合盍 才十五
葉怗 才十六
洽狎 才十七
業乏 才十八

此帖係係延宝年間新井伯元所
撰實也表識此體奉幣曩祖
一関子頗好翰墨尓来所翁衣藏
也授与本朝人筆蹟各色筆意一般因
新和漢古法不異焉今到平安
墨以贈因好之記君

先仙韋一平　鉉絃韋二　霰線韋九
蕭宵韋三　篠韋七　嘯笑叶三十
看韋三　巧韋六　效韋廿一
豪韋四　晧十九　號韋廿二
麻韋六　馬韋廿　
歌戈韋五　哿果韋　箇過韋廿三
陽唐韋七　養蕩韋廿一　漾宕韋廿五
庚耕清六　梗耿靜韋廿三　敬諍勁韋廿六
青蒸韋八　迥韋十四　徑韋廿七

蒸登韋十　極韋廿三　證嶝韋廿八
尤侯幽韋十一　有厚黝韋廿六　宥候幼韋九
侵韋十二　寢韋廿四　沁韋廿八
覃談韋十三　感敢韋廿八　勘敢韋廿一
鹽添嚴十四　琰忝儼韋廿五　豔掭釅廿四
咸銜凡韋十五　豏檻范韋廿二　陷鑑梵廿三
嚴凡韋十六

入聲

屋韋一　沃燭韋二　覺韋三

賀術第四　勿茅五　近　第六
月没第七　易素夫人　點轄第九
屑薛第十　藥鑁主　陌麥第十三
錫　第十三　職德第十四　緯第十五
合盍第十六　葉帖第十七　治狎第十八
業乏第十九

乳紀已初著無一道人序

明　西平主川　城州愛宕郡
書舖　龜屋半兵衛版

右原本初七方同志信開仲之所

韻学有左来而伝訳詮大西方語作一三
句愚按国古無反切字母各列韻眠相撃作
(鄙俚言以擬自笑)
是の鋒の如く韻書(補遺)沖挺駁
未聊(便)。三十六字母二百六韻譜記再
唐中季冬

七音十行歌訣

アカヤ喉牙十音加牙井薬
ハサマの舌ラの唇半舌歯音
三十六字母歌訣
重唇音 幫(ハ)滂並(バ)明(マ)
(才三輕唇 非敷奉(ハ)微(マ)
舌頭音 端透定泥 舌上音 知徹澄(チヨウ)娘(ジヤウ)
牙音 見(ケン)渓群疑(ギ)
歯頭音 精清従(ジウ)心邪(ジヤ) 正歯音 照(セウ)穿牀(ジヤウ)審禅(ゼン)
喉音 影暁(キヤウ)匣(カフ)喩(ユ) 半舌音 来(ラ)
半歯音 日(ジツ)

三十六字母知徹澄娘
一母端透定泥 舌上音 知徹澄
歯音 精清従心邪 正歯音 照穿牀審禅
牙音 見渓群疑 喉音 影暁匣喩
半舌音 来 半歯音 日

判台ハ来のすじ 判徴者
判齒ハ日すじころ 判酉

早三節說

廿七合 東董道屋 なを侍
ふの節入をもつして
廿七合 色鐘ニ腫 宋用沈獨
廿三之開も合も江かし 講 絳覚なり
四五節 支紙寘 閑と合
ふくの柳をみる井こそすじ ふくのなき
卅五 脇ニ旨し至なり
うんの柳をみみる井ニみすじ ふふのなき
卅八開 之 止ニ志
いきの緯也 合難い

卅五開 微尾かし未のしきすの痛てとみ
十七合 類も吉なりも上のぶと和の柳をみる井なし
十八 合の節なり魚語 御てふすじ
十三合 模虞ニ桃糞 暮遇とし
十三八 咍皆斉 海駭薺 代怪祭霽 廢
旧
十四合 灰皆頬 賄のかし 隊怪祭
霽のことあり 未の夫あり
十五開 佳蟹泰卦祭
十六合も ともみともあり
十七開 痕眞 恨 魂 很 慁

十八会 魂詳 隔壁 恩穆 浸と術
十九開 欣隠 嫌迄 文吻み 問物 廿の会
二二八 山元 峰 産院 猫
禍 諫 線 露 卓
二三 寒 冊 「早」 潜 猫 鉄
二四会 寒 八 梅 早 緩 換 昌 未
二五 豪 父 雷 蕭 晴 功 除
誠 致 笑 晴
二九 南 麻 馬 稿 馬の倩 世 会 同 し
会を雪小笑二六会

お
二七開 欲 智 簡 二八会 果
三〇 三 唐陽 君 陽 春
君 濁 よ 鐸 薬 南会
三一 尼 南 棄 梗
都 動 若 南と会
三二 商 耕 書 秋 好 廻
諍と動 壁
三三開 候 九 幽 聖 方 黙
候 宿 幼